

香港区議会選の投票率は過去最低となる27・5%だった。政府が必死に投票率アップ策を講じてやっこの数字

だった。公務員に投票を証明するカードを配り強制的に投票させるなどしたようだが、果たして自分の意思で投票した市民がどこまでいたのか。

候補者が親中派ばかりの結果ありきの選挙で、民主的な機能を果たしたとは到底思え

結果ありきの選挙、冷めた目の香港市民

民主的に社会を動かそうとしてきた香港市民の心はそう簡単には変わらない。元民主活

ない。香港国家安全維持法（国安法）施行以降の政府に多くの市民が冷めた見方を持っていることが改めて分かった選挙だった。

補助金をもらったりして二制度」の崩壊がより目に見える形で表れてきそうだ。選挙で当局に抗議した民主派が逮捕されたのは、少しの批判

に慣れた移住者が増えれば、も封殺される言論統制の厳し

さを示す事件だ。状況は国安法施行時より悪化しており、

中国が民主化しない限り改善

動家の周庭氏も愛国教育を受けさせられたが、カナダに亡命し「世界が香港に関心を」と勇気をもって訴えた。そうした声を横目に「愛国者統治」を掲げ、選挙で自分らに

背かない議員ばかりを集める

政府が滑稽に見えて仕方ない。

（聞き手 桑村朋）

東京大教授 阿古智子氏

今は香港を離れた民主派らの穴を埋めるように中国本土から人が流入し、政府の支援で公共住宅に優先的に入った



選挙で香港の実態が見えなくなる恐れもある。

中国が民主化しない限り改善しないだろう。